

令和２年度使用教科用図書調査に関する合同報告会議事録（第２日）

1 開会

2 開会あいさつ

3 協議事項

令和２年度使用小学校用教科用図書加印地区共同調査員会からの報告及び質疑応答

(1) 国語

班長からの報告

(2) 書写

班長からの報告

(3) 算数

班長からの報告

(4) 図画工作

班長からの報告

(5) 家庭

班長からの報告

(6) 特別の教科 道徳

① 班長からの報告

② 質疑応答

委員：２つ確認したい。いじめ問題について光村図書に◎がついている根拠を教えてください。日本文教出版は「いじめについて扱っている教材は少ない」とコメントされているにもかかわらず、△ではなく○である根拠を知りたい。

班長：光村図書については、兵庫県教育委員会発行の調査研究資料に挙がっている教材を一つずつ精査したところ、各学年３～４個のいじめを直接取り扱った教材があった。とくに友達との関係性の中にあるいじめを取り扱ったものが多い。また、いじめに関するコラムが設定されている。学校生活に関するいじめを最も多く取り扱っているため、光村図書は◎とした。日本文教出版については、兵庫県教育委員会の調査研究資料によると、８ついじめに関する教材を取り扱っているとあるが、精査したところ、このうち学年で２つ

～3つがいじめを扱ったものであった。いじめに関する特別ページもあるため、△より○のほうがふさわしいと評価した。

委員：報告書の様式2の3番は、命の尊厳、規範意識、いじめ、差別の解消等、非常に重く喫緊の課題を取り扱う内容項目、評価規準であるが、調査員会の評価が厳しく、「やや劣る」の△がついた教科書は8社中5社ある。◎と評価された光村図書はいじめ防止対策推進法、こどもの人権、世界人権宣言等の法律について、6年児童に学ばせる点がすばらしい。また、憲法改正、法律の見直しという機運が高まりつつある時代のニーズに合っている点や人権啓発資料としてもよい点においても光村図書は大変優れている。ただ、「やや劣る」という評価の5社についても○でよいのではないか。班長をはじめ調査員は人権意識が高く、文部科学省の通達に沿った厳しい評価基準に照らして評価したために、大事な評価項目において5社が「やや劣る」という評価になったのか。経緯を聞かせてほしい。

各市町の選定委員会において、調査員会の◎○△の評定と違う評価をつけてもよいのかを、事務局に伺いたい。

班長：人権教育の視点も意識して評価した。しかし、兵庫県では人権教育資料が別にあり、各校において道徳教育とは別に人権教育のカリキュラムが作成されているため、道徳科を強く意識し、とくにいじめ問題を中心に評価した。これが指摘のあった評定の差につながったと理解してほしい。

委員：いじめは命に関わる問題でもあるし、差別のことが書かれている資料もあった。納得した。

事務局：調査員の報告書と各市町の選定委員会の意見を合わせて考えてもらってよい。

4 連絡事項

5 閉会